

日時：令和2年12月21日（月）8:30～

場所：401 会議室

【確認事項】

防災監：本日は、全国や愛知県でも感染が拡大し、高止まりしている状況であり、年末を迎えるにあたり、組織として情報共有した上で、市としての必要な対応を検討したい。

防災交通課長：新規感染者数は、全国や愛知県でも過去最多を更新している。そのため、市民への注意喚起を行うため、先に発出された愛知、岐阜、三重3県の知事共同メッセージを参考に啓発文案を作成した。一方、今朝の新聞報道では、新たに愛知県より県民向けメッセージが出される予定とあるため、その状況を確認しながら市民への発信を行いたい。

現在、公共施設は、感染防止対策を各施設で行っているが、公共施設から感染拡大させないという考えから、現在の取り組みを改めて確認するとともに再徹底をお願いする。今後、仮に国や県から緊急事態宣言が出された場合の対応としては、4月の宣言発出時には広報の号外を全戸配布しており、同様にチラシの作成と全戸配布の想定や公共施設についても、臨時休館等の対応も念頭に置いて確認・準備をしておいて欲しい。

防災監：各施設所管課においては、4月の緊急事態宣言時の資料等で対応を確認しておいて欲しい。知事が今週にも県民へ向けたメッセージを出すと想定されるが、犬山市からの市民へのメッセージについて意見を聞きたい。

副市長：今日の対策本部は、市長からコロナ感染者が増えてきている状況をよく把握して議論するとの指示によるもの。年末年始を迎えるにあたり犬山市としては、県からのメッセージをわかりやすく市民に伝え、市民と情報共有をするために、今回は3県の知事が発表した共同メッセージを案として作成した。このメッセージを出すタイミングは、愛知県が今日か明日にもメッセージを出す可能性があるため、それを踏まえなければいけないと考えるが、クリスマスなど季節のイベントがあるため、その前にメッセージを出しておきたい。

また、公共施設の対策については、再度徹底するもので、クラスターを発生させないように行うべきことは行うということ。もし、国や県から緊急事態宣言等が出された場合には、市としても市民との情報共有が必要なため、参考資料として4月に出した広報の号外があるが、こういったものの全戸配布も考えておくことと、公共施設の休館も想定されるため、前回の臨時休館した施設の対応一覧を資料としたので、そのことをふまえて議論して欲しい。

防災監：市民へのメッセージについて意見はあるか。

市長：知事のメッセージを確認した後に、整合性をとってメッセージを出すべきである。

経済環境部長：今までの経験から、準備は進めておいて県下の状況を踏まえてメッセージを出せばよいと思う。

企画広報課長：全戸配布が必要となった場合、宣言のチラシに関して、年末になると印刷業者が対応可能かの確認は必要であり、町会長さんにも年末に協力をいただく必要があるかもしれない。

副市長：配布は町会長さんに頼む必要があるかもしれないが、印刷は自分たちで印刷することも想定し、速やかに対応ができるようにしておきたい。

市長：町会長さんに広報を配付した後に各世帯に配られる時間を考えると、人海戦術で職員が配ることも考えたほうが良いので、想定の上、準備は進めておいて欲しい。

防災監：まずは、知事のメッセージを踏まえて、ホームページとSNSやあんしんメールを使って情報共有を図り、それ以降に動きがあれば対応することとする。また、職員での全戸配布などの緊急対応の準備を進めて欲しい。

市長：情報発信とは別の話だが、第3波のこの現時点で、新たに困難に直面している人や支援から漏れている人がいないのか、いるのであれば市としてどんな支援が可能で、いつのタイミングで必要なのか、あるいはこれまでの支援の上乗せやサポートの必要があるのかなど、改めて支援を必要とする市民や事業者への把握を各部署で考えて進めてほしい。

教育長：小中学生がPCR検査を受けるケースが多くあったが、幸いにも陰性であった。今週から子供たちが冬休みに入り家庭で生活する時間の増加に伴い、心配されるのは家庭内での感染である。そのため、保護者に向けて、これまでの感染予防について改めて確認するとともに、濃厚接触者あるいはPCR検査を受ける場合には速やかに学校に連絡をいただき、学校の対応が遅れないように努めていくための、案内文書を送ることを予定しており、引き続き学校内でクラスターを起こさないように対応を強化していきたいと考えている。

防災監：最後にワクチン接種について、説明をお願いします。

健康推進課：12月18日に、第1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保についての説明会が行われた。ワクチンの接種は国の指示のもと都道府県の協力を受け、市町村が実施するものとなっている。接種の優先順位があり、医療従事者に先行して行われ、続いて高齢者、その他の基礎疾患のある方の接種を行うスケジュールとなっている。ワクチン接種は長期間に及ぶものであり、国からも人員体制の整備をしっかりとるように指示がある。クーポン券（接種券）の発送やディープフリーザー（冷凍庫）の設置場所の選定、コールセンターの設置などが必要となる。集団接種も考えられるので接種会場についても施設所管課の協力が必要となり、全庁での協力体制で進めていくものも多くある。今後は、今週の水曜日に県の説明会があり、1月にも国の説明会があるため、順次情報を提供していく。

防災監：ワクチン接種に限らずコロナの対応については、全体にかかわることが多いため、情報共有をしながら対応を進めていく。また、市民や事業者への支援の把握についても進めて欲しい。以上で本日の会議を終了する。